

製品名: rTaq DNA Polymerase Hot Start

1. 化学品及び会社情報

製品名: rTaq DNA Polymerase Hot Start
製品コード: TAP-319E, TAP-329E, TAP-359E
会社名: 東洋紡株式会社
住所: 大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス
担当部門: バイオ事業総括部
(TEL: 06-6348-3786(国内), 06-6348-3846(海外), FAX: 06-6348-3833)
推奨用途: 遺伝子増幅 (研究用試薬)

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響
健康有害性: 通常の状態では人の健康に対する有害な影響は小さいが、有害性に関する調査が不十分なので、取り扱いには注意する。

GHS分類	区分
急性毒性(経口)	区分に該当しない(区分外)
急性毒性(経皮)	区分に該当しない(区分外)
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない(区分外)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない(区分外)
呼吸器感受性	区分に該当しない(区分外)
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない(区分外)
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない(区分外)

GHSラベル要素	
絵表示:	-
注意喚起語:	-
危険有害性情報:	該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物
成分及び濃度又は濃度範囲

成分名称	含有量 wt%	CAS#	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示 番号	官報公示 番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
トリス(ヒドロキシメチル)	0.1-1	77-86-1	2-318	公表	非該当	非該当	非該当
塩化カリウム	0.1-1	7447-40-7	1-228	公表	非該当	非該当	非該当
エチレンジアミン四酢酸二ナ トリウム・2水和物	0.001- 0.01	6381-92-6	2-1265	公表	非該当	規制濃度 以下	非該当
ジチオスレイトール	0.001- 0.01	3483-12-3	---	---	非該当	非該当	非該当

製品名: rTaq DNA Polymerase Hot Start

ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート	0.1-1	9005-64-5	7-110, 8-55	公表	非該当	非該当	非該当
グリセリン	50	56-81-5	2-242	公表	非該当	非該当	非該当
rTaq DNA polymerase	0.01-0.1	---	---	---	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合:	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合:	多量の水で十分洗い流す。気分が悪いときは医師に連絡する。
眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合:	可能であれば吐き出させ、気分が悪くなった場合は医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護:	情報なし

5. 火災時の措置

消火剤:	水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤:	情報なし
消火を行う者の保護:	大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	作業を行う際は保護具を着用し、眼・皮膚への接触や吸入を避けるように注意する。
環境に対する注意事項:	直接河川など環境中に放出しない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	可能な限り、減圧で吸引したり、ウェスなどに吸収させて回収し、その後、大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	人体への接触を避けるよう十分に注意する。
局所排気・全体換気:	適切に換気し保護具を着用し取扱うこと。
安全取扱い注意事項:	目、皮膚、衣服への接触を避け、取扱い後は充分洗浄する。取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。
接触回避:	情報なし
衛生対策:	取扱い後は手を充分洗浄する。取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。
保管	
安全な保管条件:	密閉容器にて-20℃で保管する。

製品名: rTaq DNA Polymerase Hot Start

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:	換気システムを設ける。
保護具	
呼吸用保護具:	必要に応じて防塵マスクを着用する。
手の保護具:	ゴム手袋を着用する。
目の保護具:	保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具:	必要に応じて保護衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

製品

外観	外観	物理的状態:	-20°C以上で液体
		色:	無色透明
		臭い:	ほとんど無臭
		臭いのしきい(閾)値:	データなし
		融点・凝固点:	データなし
		沸点又は初留点 及び沸点範囲:	データなし
		可燃性:	データなし
		爆発下限及び爆発上限 /可燃限界:	データなし
		引火点:	水溶液のため引火性はないと考えられるが、水分蒸発後160°Cの引火点を持つグリセロールが残留する。
		自然発火点:	データなし
		分解温度:	データなし
		pH:	7.0-9.0
		粘度:	データなし
		動粘度:	データなし
		溶解度:	水に可溶
		n-オクタノール/水 分配係数:	データなし
		蒸気圧:	データなし
		比重(密度):	データなし
		蒸気密度:	データなし
		蒸発速度:	データなし
		粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	通常の条件下では安定である。
化学的安定性:	-20°Cで安定
危険有害反応可能性:	データなし
避けるべき条件:	高温、直射日光、火災などによる強熱
混触危険物質:	データなし
危険有害な分解生成物:	データなし

製品名: rTaq DNA Polymerase Hot Start

1.1. 有害性情報

製品

急性毒性（経口）:	区分に該当しない（区分外）
急性毒性（経皮）:	区分に該当しない（区分外）
急性毒性（吸入）:	区分に該当しない（分類対象外）（気体） 区分に該当しない（分類対象外）（蒸気） 区分に該当しない（分類対象外）（粉塵・ミスト）
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	区分に該当しない（区分外）
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性:	区分に該当しない（区分外）
呼吸器感作性:	区分に該当しない（区分外）
皮膚感作性:	分類できない
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	分類できない
生殖毒性:	分類できない
特定標的臓器毒性、単回ばく露:	分類できない
特定標的臓器毒性、反復ばく露:	分類できない
誤えん有害性:	分類できない

1.2. 環境影響情報

製品

生態毒性	
急性毒性:	区分に該当しない（区分外）
慢性毒性:	区分に該当しない（区分外）
残留性・分解性:	生分解性あり
生体蓄積性:	情報なし
土壤中の移動性:	情報なし
オゾン層への有害性:	分類できない
他の有害影響:	情報なし

1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者若しくは地方公共団体が処理を引き受けている場合には地方公共団体に委託する。
焼却するときは、管理された焼却設備を用いて、廃棄物処理法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法等に従って処理する。

【汚染容器及び包装】使用後の容器は、その施設・地域の廃棄規則に準じて廃棄する。

製品名: rTaq DNA Polymerase Hot Start

1.4. 輸送上の注意

国際分類	国連分類:	国連勧告の定義上の危険物に該当しない。
	国連番号:	なし
	品名(国連輸送名):	なし
	容器等級:	なし
海洋汚染物質:		非該当
国内規制:		情報なし
輸送の特定の安全対策:		運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。-20℃以下で輸送する。

1.5. 適用法令

化審法:		優先評価化学物質(ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート)、製造輸入量の届出を要しない物質(塩化カリウム, グリセリン)
PRTR法(化管法)(2023年施行):		非該当
安衛法:		非該当
毒劇法:		非該当
消防法:		非該当
海洋汚染防止法:		有害液体物質Y類物質(エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム・2水和物)、有害液体物質Z類物質(グリセリン)
外国為替及び外国貿易管理法:		輸出許可物質(全リスト)(グリセリン)
ENCS (JAPAN):		非該当
TSCA (USA):		非該当
REACH (EU):		非該当
AICS (Australia):		非該当
DSL (Canada):		非該当
ECL (Korea):		非該当
PICCS (Philippines):		非該当
IECSC (China):		非該当
ECN (Taiwan):		非該当

1.6. その他の情報

参考文献	【GHS分類方法】JIS Z 7252:2019「GHSに基づく化学物質等の分類方法」社内データNITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構)職場のあんぜんサイト(厚生労働省) RTECS(化学物質毒性データ総覧)国際化学物質安全性カード 3E Insight for Chemicals(日報化学品法規情報センター)化学大事典(共立出版社)14705の化学商品(化学工業日報社)
制約事項	記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。